

「ワンチーム」づくりに奔走

GovTech東京業務執行理事兼CSO 畑中洋亮

——業務執行理事兼CSO サービスを革新することを目指（最高戦略責任者の所掌は。ガブテック東京（GTT）には六つの本部があり、業務執行理事としてデジタル戦略本部を所掌しています。この中には新たなサービスを創出する「2030戦略グループ」と「官民共創グループ」があり、これらをまとめるのが私の役割です。

——具体的には。新しいサービスで特に期待されているのが「東京デジタル2030ビジョン」の実現です。デジタルの力で行政サ

——一方、官ではないこと連携も必要です。これらを2030戦略グループが担っています。縦割り行政の中でGTTが果たす役割は。技術的な専門家集団としてサービスを創出することに加え、国や自治体、民間事業者など様々な主体の調整役として前に進める役割です。自治体は人事異動や民間委託など実績に基づいて垣根を下げてもらう努力の1年でした。

——都庁との連携体制作りは具体的には。ほぼ毎週に近い形でデジタルサービス局の幹部とGTTの理事が対話をする場を作る

3 GovTech東京 2年目の挑戦



はたなか・ようすけ＝1981年生まれ。アップルジャパンなどを経て、内閣官房デジタル行財政改革会議政策参与などを務める。気分転換は料理。週末はほとんど作っているといい、「季節ごとに食材も変わるし、子どもが小さいので、食べられるものの中で自分が作りたいものをいつも考えている。クリエイティブでもあるし。料理している間は仕事のことを考えないので息抜きですね」

行政も人材確保が難しくなると感じます。企業経営者だったら月次決算を踏まえ、より良くするために何に投資し、どこを削るか、優先順位は何かをすごい速さで判断しますが、行政は予算を組むのに一生懸命がらばって、予算が通ると、また来年度の予算作りが始まる、みたいな。その事業がどんな結果につながって、次どうするといった構造になりづらい。事業のKPI（重要業績評価指標）もバラバラで日報のない営業マンみたいに、なんか分からないけど最後に売り上げが立たないし、売り上げが立たない理由も分からない、みたいな。事業と成果を縦にも横にもひもつけないといけないと経営ではないかと思うんです。

——今後の目標は。官民共創の構造を作ること

行政も人材確保が難しくなると感じます。企業経営者だったら月次決算を踏まえ、より良くするために何に投資し、どこを削るか、優先順位は何かをすごい速さで判断しますが、行政は予算を組むのに一生懸命がらばって、予算が通ると、また来年度の予算作りが始まる、みたいな。その事業がどんな結果につながって、次どうするといった構造になりづらい。事業のKPI（重要業績評価指標）もバラバラで日報のない営業マンみたいに、なんか分からないけど最後に売り上げが立たないし、売り上げが立たない理由も分からない、みたいな。事業と成果を縦にも横にもひもつけないといけないと経営ではないかと思うんです。

——今後の目標は。官民共創の構造を作ること

行政も人材確保が難しくなると感じます。企業経営者だったら月次決算を踏まえ、より良くするために何に投資し、どこを削るか、優先順位は何かをすごい速さで判断しますが、行政は予算を組むのに一生懸命がらばって、予算が通ると、また来年度の予算作りが始まる、みたいな。その事業がどんな結果につながって、次どうするといった構造になりづらい。事業のKPI（重要業績評価指標）もバラバラで日報のない営業マンみたいに、なんか分からないけど最後に売り上げが立たないし、売り上げが立たない理由も分からない、みたいな。事業と成果を縦にも横にもひもつけないといけないと経営ではないかと思うんです。

——今後の目標は。官民共創の構造を作ること